

# Weekly コラム

平成 30 年 2 月 13 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## ATM 維持費に言及する意図は？

昨年末、各報道紙で「日本のATMなどの年間維持費が約 2 兆円のコスト」という記事が紹介されていたことは、皆様の記憶に新しいのではないのでしょうか？

日本における現金決済の比率は決済全体の約 65%と、先進国の中でも特に現金が扱われています。ふと身の回りを眺めると、多くの金融機関、コンビニエンスストア、ショッピングモールにはラインナップの揃った各行専用のATMと、よほどのことがないかぎりどこでも現金が引き出せる状態となっています。

日本人は特に現金が好きです。通貨が度々変わった大陸とは違い、島国という地理的有利が侵略を防ぎ、通貨に対する信用が高いことが理由の 1 つとして挙げられます。たす預金も約 43 兆円と、世界でも稀に見る現金国です。

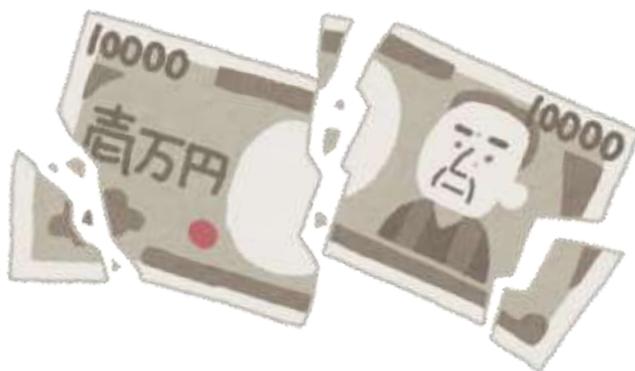
全国銀行協会によると、ATMの管理維持コストが年間で約 7600 億円、そこに人件費などを加えると約 2 兆円ものコストがかかるとのことで、取り扱い機関は規格の統一化やキャッシュレスの推奨など様々な取り組みでコストを抑えようと努力している、と報じられていました。

さて、世界では高額紙幣廃止の流れが進んでいます。欧州中央銀行は 500 ユーロ紙幣を 18 年末までに発行停止することを決定、200 ユーロについても廃止の議論がなされています。お店などで 100 ドル紙幣の使用を拒否されるケースを引き合いに出し、米国でも 100 ドル紙幣の廃止議論がなされるなど、世界各国で動

きが出てきている中で、日本の 1 万円紙幣についても著名経済学者などが廃止すべきとの声を上げています。脱税や反社会資金への対応、キャッシュレス社会を実現させることが理由として挙げられていますが、一番の理由は「管理がしやすい」というところではないのでしょうか？

報道各誌がこぞって報道したのは単にATMに莫大なコストがかかっているということを伝えたかったのではなく、これから日本でも 1 万円紙幣について本格的に議論がなされる、又は議論させる方向にリードする為に報道されたのではないのでしょうか？ 1 万円紙幣について本格的な議論がなされている現況ではありませんが、ATMコストの話などは結び付けるきっかけになります。

グローバルな視点では、他の先進国は、という比較に日本人はめっぽう弱いのです。1 万円紙幣もその流れに飲み込まれてしまうのでしょうか？



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。